

# 平成30年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	国語	科目名	国語表現	単位数	2	履修学年・クラス	3学年全クラス
担当者		使用教材	第一学習社「国語表現」・学習課題ノート・ブライム常用国語・「新総合図説国語」・国語辞典・クリティカルシンキング				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語で適切に表現する能力を身に付け、伝え合う力を高める。</li> <li>○ 実際に文章を書くことで、思考力を伸ばし言語感覚を磨く。</li> <li>○ 発表活動を通し、進んで表現し社会生活を充実させる態度を育てる。</li> </ul>						
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の意見や考えを話したり書いたりし、適切に伝えます。</li> <li>○ 自由な発想による表現活動を通して、表現することに親しみます。</li> <li>○ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の基盤となる事柄を理解し、表現全般に通じる基礎的な方法を身に付けます。</li> </ul>						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	関	関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。				
	能	話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話的に確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。				
		書く能力	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。				
		読む能力					
知	知識・理解	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。					
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			関	話	書	読	知		
前期中間	記録文を書く	・記録文の基本的な形式を理解し、実際に記録文を書く。	○		○	○	○	関: 読み手のことを考慮して、読みやすく正確な文章になるよう工夫している。 書: 工夫して聞き書きしたことを表現しているか。 知: 記録文の書き方を理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	レポートを書く	・レポートの書き方を身に付け実際にレポートを書く。 ・書いたレポートを、発表する。	○	○	○	○	○	関: 他人の発表内容を的確に聞き取るようしている。 話: 書いたレポートを他の人にわかりやすいように発表できる。 書: 書いた文章を推敲することが出来る。	行動の観察 記述の確認 考査
	話し合いをする	・話し合いの手順を理解し、実際に話し合いを行う。	○	○			○	関: 自分の意見を積極的に発言し、進捗に協力しようとしている。 話: 適切な言葉遣いで自分の意見を述べることが出来る。 知: 話し合いに臨む態度・各担当の役割・進め方について理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
前期末	課題作文を書く	・明確に自己をアピールする文章の書き方を理解する。 ・自己認識を深めた上で、明確な自己アピールとなる文章を書く。	○		○		○	関: 書き上げた文章をよりよいものしようとしている。 書: 題目に即して、明確な自己アピールとなる文章を書くことが出来る。 知: 課題作文の書き方を理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	小論文を書く	・小論文の特徴と書き方を理解する。 ・実際に小論文を書き、相互批評を行う。	○		○		○	関: 小論文で自分の考えを述べようとしている。 書: 小論文の書き方に添って、小論文を書くことが出来る。 知: 小論文の書き方を理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	日本語の特徴	・日本語の特徴を、英語との比較を通して理解する。	○				○	関: 進路目標実現に向けた取り組みをしている。 知: 日本語の文法・語彙・音節・文字の特徴を理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
後期中間	敬語の分類	・正しい敬語の使い方を身に付け、適切な言葉遣いで話す。	○	○			○	関: 相手や場面に応じて、適切な言葉遣いで話そうとしている。 話: 相手や場面に応じて、適切な言葉遣いで話すことが出来る。 知: 敬語が持つ性質の一つである、聞き手に対する配慮について理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	ニュアンスを変える助詞	・助詞の分析を通して、それぞれの意味の違いを理解する。	○				○	関: 助詞の違いで意味が異なる場合があることに関心を持つ。 読: 誤解を与える表現について、その理由を把握できる。 知: 助詞について正しく理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	日本語のレトリック	・比喩表現の分析を通して、言語の可能性を把握する。	○	○			○	関: わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。 話: 筆者の隠喩についての見解に対して、適切に自分の意見を述べることが出来る。 知: 本文中の比喩表現の意味を理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
後期末	時間の見方を変えるとき	・意見文を読み、もの見方や考え方を広げる。	○				○	関: わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。 読: 本文の主題とその論証のしかたを分析することが出来る。 知: 全文を正しく音読できる。	行動の観察 記述の確認 考査
	コップの中の論戦	・投書の論点を理解する。 ・自分の意見を書き、相互批評する。	○		○		○	関: 他人の意見を読み、批評しようとしている。 書: 「ちゃん付け」に対する自分の意見を文章で表すことが出来る。 知: それぞれの投書の論点をまとめることが出来る。	行動の観察 記述の確認 考査